



# スクールリポート

▶ 学校教育課  
☎23-3679

学校生活の  
一コマを  
紹介



## 「海岸清掃と潮干狩り」 三世代続く、泉小伝統行事

泉小学校



●縦割り班で協力して海岸のゴミ集め



●アサリをたくさん見つけました

泉小学校では、毎年5月から6月の大潮の日に新江比間海岸で海岸清掃と潮干狩りをしています。昭和28年から始まった潮干狩りは、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんと家族三世代にわたってなじみのある行事となっています。平成5年からは海岸清掃も併せて行っています。

今年は6月7日(水)に実施しました。海岸清掃では、子どもたちは12の縦割り班に分かれ、ボランティアの保護者35名と一緒に、燃えるゴミ、ペットボトル、空き瓶、スチール缶などを分別しながら集めました。40分ほどの活動で、コンテナいっぱいのごみを集めました。

その後は、潮干狩りです。今年の潮干狩りはとても好調で、砂浜を掘れば掘るほどアサリが採れました。「今までの中で、一番たくさんアサリが採れた!」と、どの子どもとても満足気でした。

海岸清掃と潮干狩りは、泉の宝である海を守る気持ちを育てる大切な行事になっています。



## 「校歌ってなぜあるの?」 泉のよさを歌いたい!

泉中学校

泉中学校では毎年「校歌」を教材にした道徳の授業を実施しています。今年も「校歌ってなぜあるの?」というテーマで生徒たちと学習を進めました。校歌の歌詞の意味をひもといていく中で生徒たちは数々の発見をし、次のように感じたことをまとめました。

「今まで何も考えずに校歌を歌っていたけれど、校歌には、今までの泉中学校の卒業生の思いがたくさん詰まっていることがよく分かりました」

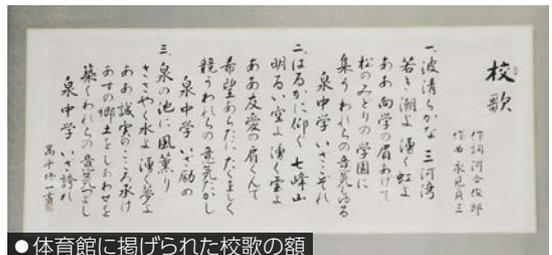
「校歌の歌詞にある『こぞれ』『はげめ』『ほこれ』は卒業生から『がんばれ!』と言われているみたいだなと思いました」

「泉中学校の生徒としての自覚を持ち、卒業していった5667名の先輩から伝えられた『泉のよさ』をこれからも忘れずに歌いたいです」

これらの思いによって、生徒も教師も改めて校歌の持つ意味を認識することができました。私たちの校歌は、学校の宝であり、泉の宝です。



●校歌を教材にした道徳の授業



●体育館に掲げられた校歌の額